

愛知労働局、北監督署、名北協会、名協会で

「全国安全週間キャンペーン・パトロール」実施

全国安全週間期間中の去る7月1日、当協会は愛知労働局、名古屋北労働基準監督署と合同で名古屋市東区にある名城大学ナゴヤドーム前キャンパス新築工事作業所（施工者・株大林組名古屋支店）を訪れ、「全国安全週間キャンペーン・パトロール」を実施しました。

当日はまず、藤澤愛知労働局長が約220名の

作業員を前に、「全国安全週間のスローガン『危険見つけてみんなで改善意識高めて安全職場』を

理解し、安全意識を高め全員が事故を起こさないという強い意志で安全活動に取り組みと共に、熱中症対策を万全にしてほしい。無事故・無災害で竣工を迎えてほしい」と

激励しました。

続いて、当協会の池戸副会長が「体調の維持管理とゆとりを持って作業にあたり、安全管理を続けてほしい」と挨拶し、安全週間キャンペーン用品（ウエットティッシュ）を現場担当者に手渡し、安全意識の向上を図りました。

その後、工事現場のパトロールを実施し、墜落・転落や熱中症などの

対策状況を確認しました。

パトロール後の講評では、愛知労働局 岡田安全課長より「日頃から安全対策が行われていることが確認できた」。また、鈴木名古屋北労働基準監督署長が「7月1日に改正された足場の墜落防止措置も適切に整備されている。現場も整理整頓がしっかりできており、今後も継続し安全管理を続けてほしい」と締めくく

りました。
なお、当日現場では報道機関の取材も受け、新聞報道を通じ幅広く安全週間について周知を行うことができました。

このほか、当協会では全国安全週間および準備期間中に、協会で開催する各種講習会場において、協会職員が受講生全員に安全週間キャンペーン用品を配布するなど、安全意識の啓発に努めました。



合同キャンペーン



鈴木署長



藤澤局長



キャンペーン用品を手渡す
池戸副会長（右）



工事現場をパトロールする
一行



講習会場で安全週間キャンペーンを展開（協会大会議室）